

シラバス情報

授業方法	(講義) ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	二輪シャシ整備		
必修・選択	(必修科目) ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年前期	・ 木曜日	・ 3・4時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	川向 芳子		
実務経験	(有) ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる二輪自動車シャシの整備知識についての講義を実施する。		
授業の目的	シャシ各部の構造・作動の再確認をしながら、二輪車ならではの装置の解説を行う。		
テキスト	①二級二輪自動車（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②三級二輪自動車（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	クラッチ、ベルト式無段変速機	クラッチの構造の再確認と 分組・整備方法、注意点など	①P61～65 ②P60～65,71
第2回	クラッチ、ベルト式無段変速機	クラッチの種類、 点検・整備方法の違いなど	①P68 ②P149
第3回	トランスミッション	トランスミッションの構造の再確認と 分組・整備方法、注意点など	②P69～ 71,149
第4回	駆動装置	ドライブチェーンの構造の再確認と タイプ別の整備方法、注意点など	②P71,150
第5回	フロント・アクスル 及びサスペンション	構造の再確認と タイプ別の整備方法、注意点など	①P74～83 ②P74～76
第6回	リヤ・アクスル 及びサスペンション	構造の再確認と タイプ別の整備方法、注意点など	①P76～78 ②P76～78
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	ホイール・タイヤ	構造の再確認と タイプ別の整備方法、注意点など	①P84～88 ②P81～87,148
第8回	ブレーキ装置 (機械式ドラムブレーキ)	構造の再確認と タイプ別の整備方法、注意点など	②P90～93, 145～148
第9回	ブレーキ装置 (油圧式ディスクブレーキ)	構造の再確認と タイプ別の整備方法、注意点など	①P89～93 ②P94～98, 145～148
第10回	油脂類	整備全般に関連する油脂類の種類など	①P139～141 ②P150

第 11 回	総合復習	国家試験・過去問題のシャシ部門を中心に	
第 12 回	総合復習	国家試験・過去問題のシャシ部門を中心に	
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	二輪車ならではの装置の理解と整備方法の習得。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 40%</p> <p>平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		